

定量的研究について

1. 2つの研究方法

- （ ）的研究・・・テストやアンケートによってデータを収集し、平均を取ったり、差を比較したりして、（ ）を用いて分析する研究
- （ ）的研究・・・インタビューや観察によって得られた言語データなどを、数量化せずに（ ）データのまま分析対象とし、統計を用いず解釈する研究

2. 定量的研究の特徴

- ・ 分析に（ ）を用いる
- ・ （ ）である。
- ・ （ ）がしやすい
- ・ （ ）がある程度確立している

3. 「統計をとる」ことの3つの段階

- 1) データを（ ）
 - ・ （ ）・・・測定結果がどの程度安定しているか（何回測定しても同じ結果になるか）
 - ・ （ ）・・・測定したいと思っているものをちゃんと測定しているか
- 2) データを（ ）
 - ・ （ ）・・・データの特徴を少数の数値に集約して記述すること
 - ・ （ ）・・・データの特徴を数値や図表を用いてまとめるための分析
- 3) データを（ ）
 - ・ 統計分析・・・（ ）の（ ）を（ ）で表す。[（ ）とも言う]
 - ・ 尺度水準・・・テストやアンケート等で得られるデータは以下の4水準に分類できます。どの水準かによって使える分析方法が違います。
 - ①（ ）尺度・・・性別や、職業などの単なる情報。大小や優劣はない。
 - ②（ ）尺度・・・大小関係として順序関係を示す情報。優・良・可・不可、一級・二級・三級など。
 - ③（ ）尺度・・・数値間の等間隔性が保証されていて、絶対的な0がないもの。温度や西暦など。
 - ④（ ）尺度・・・数値間の等間隔性が保証されていて、絶対的な0がある。長さや質量など。
 - ・ （ ）・・・慣習的に（ ）% に設定し、これを下回れば有意（統計的に意味がある）とみなす。
 - ・ 主な統計手法：
 - （ ）・・・名義尺度のデータを含む2つ以上の変数間の関連を検討するための分析
 - （ ）・・・2つのグループの平均に差があるかどうかを検討するための分析
 - （ ）・・・3つのグループの平均に差があるかどうかを検討するための分析
 - （ ）・・・2つ以上の変数の関連を検討するための分析